

長根だより

令和2年6月15日

No. 3

長根小 学校通信

【校訓】

強く

明るく

よく励む

寄って集るって素晴らしい

長根小学校長 弓削 善靖

休校期間が明け、子どもたちの生活は、元通りとはいきませんが、少しずつリズムを取り戻し始めています。これまで学校では、4月に始まるつもりで立てた学校の行事予定も、5月の連休明けに始まるつもりで立てた行事予定も、授業の予定も、すべてが無駄になりました。5月25日に再開された学校は、事務的な面でのあらゆる計画の再構築が必要になり、教職員の作業量は増えていますが、そんな中でも、学校の主人公である子どもたちの心の中にためてきたストレスやもやもやに寄り添っていくことは、例年以上にはるかに大きなエネルギーをもって対応していくことが求められています。

そんな中、「学校は大丈夫か。何かやってほしいことがあるのではないかと」と長根連区自治協議会からお声をかけていただき、雲間から一筋の光が差したような気持ちになりました。密閉・密集・密接を避けることに困難が多くある学校においていただき、給食配膳のサポートと子どもたちが下校した後の学校の消毒をお助けいただいたことは、本当に大きな力となりました。「困っているだろう」と学校の現状を思いやり、助け船を出してくださる今回の行動は、まさに「寄って集ってつながる長根」のキャッチフレーズが、決して言葉だけでなく、行動に裏打ちされたものなのだと実感させるものでした。

寄って集るって本当に素晴らしいです。長根小学校がコミュニティ・スクールで本当によかったです。



配膳サポートと校内消毒においていただいています

裏面もお読みください

部活動も地域とともにある活動へ

野球部・サッカー部・バスケットボール部・音楽部

先日（6月5日）、バスケットボール部の保護者会を開き、今年度の保護者代表、ヘッドコーチ、アシスタントコーチ等を決定し、本年度の体制が決定しました。これで、野球部・サッカー部・バスケットボール部は来年度に向け、保護者と地域の方々が中心となって運営を進める形が整ってきました。音楽部も、指導に関わってくださる地域の方はすでにお願いがしており、土日に芸術棟が使えるよう、セキュリティーのシステムも変更が済んでいますので、あとは、新入部員を迎え、保護者会を開いて、今年度の活動の方向性について確認しあうのを待つ状態となっています。



長根JBCのホームページ

これで、保護者と地域・学校が一体となって子どもたちの育成にかかわるコミュニティ・スクールでの部活動の形が本格的に整ってきました。野球部は、地域の方や保護者の皆さんが中心に運営する部活動の形を先頭になって築いてきてくださいました。また、サッカー部は一度学校に運営が戻された経緯があったにもかかわらず、再び地域の方に指導をお願いすることについて了解をいただき、すでに深いかかわりを持ってくださっています。こうした先進的な取り組みに倣いながら、ほかの部活動についても持続可能な発展性をもった活動として力強い歩みを進めることができるよう、学校としても頑張っていきたいと思えます。

ねこSAPOルームでお待ちしています

自治会を筆頭とした地域の方々がコロナ禍の下での給食配膳と消毒のお手伝いをされている様子をNHKが6月9日に取材に来られました。

その際に、取材の場所として、休憩場所として、打ち合わせ・ミーティングの場所として活躍したのが、今年からできた「ねこSAPOルーム」です。エアコン・冷蔵庫にガス給湯器、ソファ（少し硬いですが・・・）、テレビにピアノも設置して、地域の皆様のお越しをお待ちしています。学校のタイムテーブルが通常に戻り、長い放課（10:30~10:50）がとれるようになれば、ぜひ子どもたちと将棋やオセロで遊んでやっていただきたいと思えます。このこと



ねこSAPOルームで給食配膳出動準備

が、“連”で行われるふれあい教室の将棋教室への子どもたちの参加につながり、第2の藤井聡太君の出現！なんてことになればうれしいです。